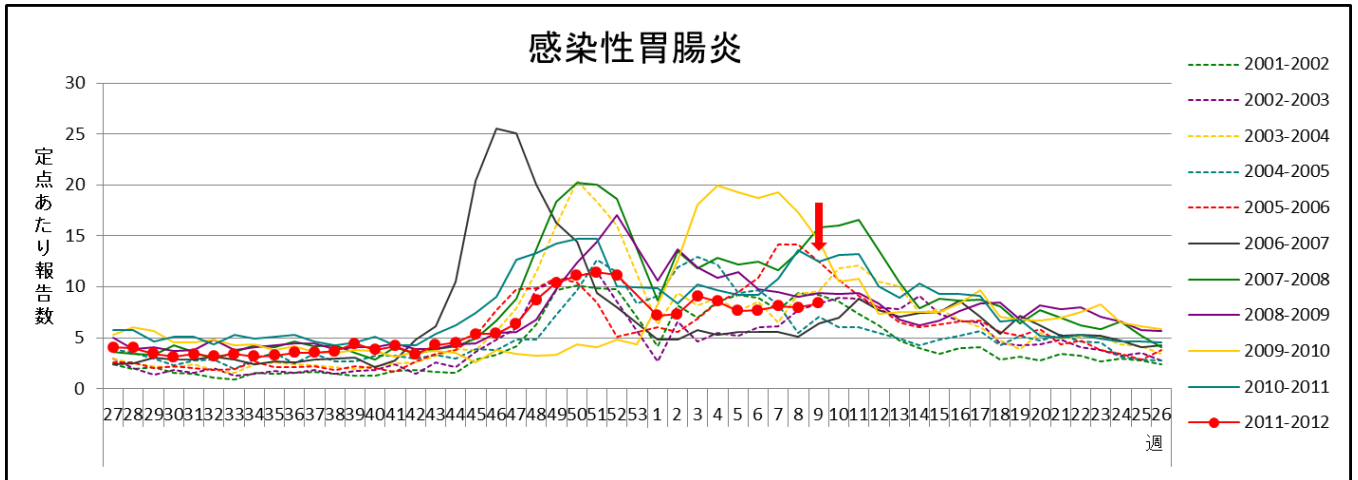


感染性胃腸炎情報 第9週 2012年2月27日～3月4日

○岡山県内の患者報告数は 453 名（ 定点あたり 8.39 人 ）で、前週とほぼ同数でした。

【第 10 週 速報】

○感染性胃腸炎による学級閉鎖が、岡山市の幼稚園と小学校の各 1 施設でありました。（ 3 月 8 日 ）



※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ～ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数でした（ 54 定点医療機関 定点あたり 7.98 → 8.39 人 ）。備北地域（ 11.50 人 ）や岡山市（ 10.21 人 ）で患者が多く発生しています。患者の年齢分布は 0～4 歳の低年齢層が約半数を占めています。小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

例年、これから春にかけて、[ロタウイルスによる感染性胃腸炎](#)が増加します。ロタウイルスは 0～2 歳児に患者が多く、ノロウイルスよりも重症度が高いと言われています。手洗いを励行するなど感染予防に努めましょう。

